

# 校友会誌



平成23年3月8日

発行

名古屋工学院専門学校校友会

名古屋市熱田区神宮四丁目 7-21

http://koyukai.denpa.ac.jp/

## <第52号>

### 今この瞬間に生きる

会長 倉田 豊行

四季を色で表すと、青春の青、朱夏の赤、白秋の白、玄冬は黒となります。出発の青春の春も玄冬の味わい深い漆黒を生む鍛錬のときが必要で。また、中国の淮南子（えなんじ）に『功（こう）は拙（せつ）に若（し）かず』（巧みは拙さに及ばない。愚直な者が貴い）とあります。新しい挑戦には困難が付きものです。最初から上手く行くはずはありません。困難がないことが、幸福ではなく、困難に打ち勝つなかに幸福があります。大事なことは失敗に挫け

### 学園創立六十周年を迎えまして

校長 小川 明治

世界経済に回復の兆しが現れつつあるとは言え、一昨年のリーマンショック以来殆どの国では金融危機の余震は消えていないといわれています。しかし、その十年前の一九九七年にもアジア通貨危機があり、このときアジア諸国の経済が大混乱に陥ったことも記憶に新しいところであり。それが、十余年という歳月の間に驚異的な経済成長を遂げていることもよく知られています。

学園は、十年前、五十周年を迎え記念誌を発行いたしました。さらに平成24年には

ずにより遂げる執念です。将来、振り返ってみると一番苦しいときが一番楽しい時となっています。

『今』この瞬間が我々を試している一瞬

一瞬が勝負です。臆病はつまりません。

同じ生きるのならば、勇気をだして愉快に澆刺と進んでほしいものと思います。

『想像力は知識よりも重要だ。知識には

限界があるが、想像力は世界を包み込む』

とはアインシュタインの箴言です。

常に想像力（希望）を持ちたいもので

す。真の賢沢というものは、ただ一つしかありません。それは人間関係の賢沢で

す。すべてを分かってくれる人がいるそれだけで人は生きる力が得られるもので

六十周年を迎え、記念行事として、『あり

がとつと言われる電波学園』をコンセプト

として確立し、創立百周年をめざす一歩を

踏み出しました。若者がチャンスをつかめ

る未来に向かって人材の質を高めること

は職業意識に対するミスマッチを解消し、

新規就業の増大につながることも新たな

ビジネスや労働需要を生み出す源泉と

もなります。

「遠くを見つめる」こと、いつの時代でも

もそうですが、我が国を取り巻く複雑で移

り変わりの激しい世界経済社会のなか、将

来を見つめて学園の教育理念の具現化に

向けて尽力を積み上げていくことの大切

さを再認識するであります。

中国の古文書に、「一歩は一歩よりも高

です。良き人生には良き助言者（メンター）が必要で。そして、『学ぶことは、心に誠実さを刻み込むこと。教えることは、共に希望を語ること』とは、フランスの詩人

ルイ・アラゴンの箴言です。また、『寛容

とは、人々を助け、友情の絆によって結び

つこつとする努力』とはオランダの哲学者

スピノザの名著『エチカ』での言葉です。

一人ひとりが可能性を発揮し、幸福な人生

を築くための人間力を培うことが大切です。

大変な時代だからこそ、こころを常に

自身を鍛え、スキルアップすることを忘

れずに、工学院魂を如何なく発揮されて、

社会で活躍していただくことを切に期待

いたしております。

し』（『南宗・梅応発』という一節があり

ます。同じ一歩でも、その前の一歩より視

界は開けます。一見当然のことのようです

が、順序段階を踏んで確実に向上進歩する

警えとされてきました。

この時節に私たちが培ってきたノウハ

ウを総合的に結集し、原点を振り返りなが

ら新たな価値の創造に取り組み、その成長

シナリオを次の十年に実現していけるよ

うな積極展開を図るターニングポイント

として邁進していきたいと願うのであり

ます。

校友会の皆様におかれましては、本校に

たいしまして相変わらずのご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

『人生いろいろ』

電子機械システム科

平成8年3月卒業 半田英治

今でこそ母校で講師として教壇に立っている私ですが、ずっと昔の高校時代は、髪を逆立てパンクバンドでベースを掻き鳴らしていました。

その後、いろいろなことを経験してきて、現在は、独立開業をして「機械設備の電気設計」をしています。

工学院時代は、何でもかんでも知りたくて、勉強が楽しくて仕方ありませんでした。「オペアンプ」を知った時は、「すげー便利なものがあるもんだ」と衝撃を受けました。

そんな中、突然、岐阜県の森林組合で働きたいと思い面接試験を受けに行っただけもありました。

趣味の風景写真に熱が入りすぎ、岐阜県山間部に住みながら風景写真を撮りたいという安易な気持ちからでしたが、周囲に怒られました。

最近では、「熊」を意識するようになり、怖くて山に入れません。

卒業後、3つの会社勤めを経て、現在に至っています。その間いろいろありましたが、「社長ともめて」、「居心地が悪くて」、「仕事が物足らなくて」。

「人生いろいろ、会社もいろいろ」です。私は、仕事中に人前で涙を落としたことがあります。

仕事に行き詰まり、仕事のやり方に納得できず、怒り狂いたいときもありました。上司からあからさまなパワハラを受けたこともあります。

試験は人生に必要なものだと思えます。皆さんも、これからいろいろな経験をされることでしょう。

自分の思い通りにならないことがあってもくじけないで下さい。どんな仕事でも得られるものが必ずあります。

大切なことは、他人の話をよく聞くことです。次へのチャンスに備えて勉強して準備を整えておいて下さい。

私の生活信条は「人生楽しい方が良く自分がされて嫌なことを他人にするな」

仕事上の信条は「知っている」と「出来る」とは違う。出来ると上手とは違う」です。講師を務めて6年ほど経ちますが、教壇に立つ時は、今でも緊張をします。

教科書には書いていないことも教えたくて、黒板に書いては消し、消しては書き、黒板が4枚あればなあ・・・、といつも思っています。

2011年3月現在、妻一人に、子供は4人(男女の双子に次女、次男)可愛くて、好きでたまりません。

子供たちを風呂に入れながら、パンクロックを口ずさみ、黄色い声援を浴びている自分を、そして、写真家になった自分を妄想している自分に苦笑い。

人生いろいろです。

『邂逅<sup>かいご</sup>について』

キャリアアセンター

尾上行男

邂逅とは人との思いがけない出会いをいいます。人生は、出会いの連続です。

当校における勤務の始まりは実験助手でした。当時、仕事が終わってから篠原先生を囲んで、若手グループで、力学のゼミナールが行われました。内積の意味が理解できず、「わかりません」と質問すると、「30回読みましたか」と言われ、恥ずかしくて何も答えられなかったことが、今でも忘れられません。最小作用の原理を知ったのもそのときでした。

篠原先生との出会いが、大学の夜間部で数学科を選ぶきっかけになりました。

その後、現在の電気工学科に配属になってから、しばらくして、吉田正治先生が講師から専任教員になられ、多くのことを教えていただきました。あるとき、電気法規とは何かと問われ、答えられずにいると、先生は「絶縁・接地・離隔である。法律は、人間を基準として作られている」と言われました。

三相交流では、第三高調波が問題になり、その理由を考えてみました。変圧器には励磁電流が必要で、そのため正弦波が歪み、対称波形になります。奇関数で奇数調波になるという結論を、吉田先生にお話ししたら、「さすが数学屋さんですね」と言われて無性に嬉しかったことを覚えています。学生のため、寸暇を惜しんで、授業用の資料を几帳面な字で書いておられた姿が印象的でした。

三好保憲先生との出会いは、工学院へ講師としておいでいただくようになったのが始まりです。放電研究では、日本の先駆者であり、世界的に知られる学者であることを、学生は全く知らなかったのです。授業態度も悪くて、授業中によくお邪魔して、学生を叱ったものです。そのうち、論文作成の手伝いをしてもらえないかと三好先生からお話がありましたが、とてもお役に立ちそうにないからとお断りしたところ、できるだけよいらしいからと言われお引き受けしました。

当時は高価だったパソコンを購入し、夜や土日に、自宅で、プログラムを組んで計算し、グラフを作成したり、ワープロを打ったりしました。教材として、フーリエ級数の収束の様子を波形ごとに調べたこともありました。藤田広一著の『電磁気学ノート』を話題にしたとき、三好先生は、藤田氏のことをよく存知で話が弾みました。レベルを落とさずに図解も分かり易く素晴らしい本です。

三好先生と最後にお会いしたのは病室でした。帰り際、先生から握手を求められ、病人とは思えないほど強い力で長い時間、私の手を握ったまま離れませんでした。三好保憲先生と出会ったことで思いがけず多くのことを学び、充実した時間を持つことができました。邂逅に感謝しています。



平成21年度 校友会収支決算書(一般会計の部)

収入の部 合計金額 23,713,512 円  
 支出の部 合計金額 23,713,512 円

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	22,274,677	会誌発行費	247,774
校友会活動費	1,432,000	支部結成維持費	667,286
預金利息	6,835	講演会費	12,000
		援助費	5,000
		慶弔費	6,141
		備品消耗品費	0
		校友会賞費	76,006
		功労賞費	54,220
		会議費	0
		会長交際費	39,135
		予備費	0
		次年度繰越金	22,605,950
合計	23,713,512	合計	23,713,512

平成21年度 校友会収支決算書(特別会計の部)

奨学金特別会計

収入の部 合計金額 33,613,710 円  
 支出の部 合計金額 33,613,710 円

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	2,121,300	今年度貸付金	1,784,000
奨学金返金	1,958,000	貸付繰越金	21,618,000
一般会計から	0	通信費	10,000
預金利息	16,410	次年度繰越金	2,301,710
貸付繰越金	21,618,000	奨学基金	7,900,000
奨学基金	7,900,000		
合計	33,613,710	合計	33,613,710

# 学園あれこれ

何かのきつかけで人生大きく変わる。  
いろいろなデビューがここにある。

「産めよ増やせよ」を合言葉に、情報学科ではベビータラッシュだ。

特に松本家は第一子ということで、今まではイクメンの先生方を冷ややかに見ていた硬派のレスラーも、自らイクメンデビューだ。

ちなみにベビータラッシュの名前は、悠佑(ゆうすけ)くん。トップアスリートの名前に多い「佑」にこだわりを持って名付けたそう。将来が楽しみだ。

「何かを持っている」が流行語になったが、1号館2階の職員室でも、何かを持っている職員が増殖中だ。

それは、スマートフォン。Phone派、アンドロイド派に分かれ、日毎に増えている。アンドロイドは、Javaで開発するといつことで、Java担当の神谷先生も当然ご購入。ちなみに神谷先生は、毎朝1号館周辺の掃除をしておられる。学生が気分良く登校できるよつにといつ気持ちで嬉し。

「なぜ」「そつじ」をすると人生が変わるのか? という本が売れているようだが、立派な心掛だ。表彰もの。表彰といえは、鳥居先生は、シスコの

トレーナーとして、大学や専門学校を先生を対象に講義をおこない、感謝状を贈られた。でも欲しいのは17台目のPC。

永年の教育功勞により、愛知県知事から表彰を受けた杉村先生、真野先生おめでつ。デビュー当時は瑞々しかったお二人も、長い教員生活の中で、いろいろなことがあったはず。

出席簿や試験答案行方不明事件、少しは漏れ聞いているが、もつとすごい「何かを持っている」に違いない。

最近、タバコの値段が上がったのを切っ掛けに、禁煙しようとする努力をしている人が多い中、伊藤先生もその一人。

愛煙家は段々肩身が狭い思いを強いられている。以前は3号館の各階にあった喫煙場所が、今や3号館の外に1箇所だけ。そこに出没する伊藤先生は、なかなか禁煙するのが辛そう。禁煙できたら、これも表彰もの?

自主映画のCG担当は世古先生。3D CG監督の肩書きをどこからか貰っているといつ。そして古市先生は特殊メイク講座に興味津々。その技術を使って、世古先生とともに映画デビュー、ハリウ

ッド進出なるか。

ここにミステリー作品一つ。

ある日曜日の朝「メガネ、メガネ、メガネ、メガネ、メガネ・・・」と家中を探し回る松岡先生。日頃子供たちに「整理整頓。使ったものは元に戻す。そうすれば、あれがない、これがない」とアホみたいに家中うるうるしなくて済む」と言っているのだが、夜になって覚悟を決めて娘さんにメールをしてみた。

「お父さんのメガネ知らない?」「知ってる」「どこ?」「私のタンスの中」「えっ!?」何故、そんなところにメガネが入るに至った娘さんの説明に納得。これはミステリーではない。単なるボ

デビューにほかならない。

秋の体育祭に突如現れた怪物が工学院に新風を吹き込んだ。姉妹校の東海工業専門学校から工学院に編入デビューした機械工学科のクラス旗。

その名も「海坊主」。描かれた担任の坂下先生の姿が爽やかな秋風に、重々しくはためく。陸に上がった怪物だ。

後日、職員会議の後の席から見ると、同じような怪物が何頭もいた。

朝倉先生が山ガールデビュー。なんと初登山はエジプトのシナイ山(285メートル)。普通の人はこんなデビューのしかたはシナイ。

エジブシヤンと結婚をした親友を訪れた際、モーゼが十戒を授かったといつ

シナイ山の「来光ツアー」に参加したのがきっかけ。途中、真つ暗だったので、ベルセウス座の流星群の流れ星をたくさん見ることができ感動。ヘトヘトになりながらも無事に登頂に成功し、「来光を拝み、またまた感動。そして頑張った自分に感動。帰国後、すっかり登山にはまってしまう。世古先生リーダーの下、高須先生・村崎先生・土屋先生たちをしたがえ、御嶽山や乗鞍岳など日本有数の峰々を征服している。

ニューフェイス登場。といつても少少年を取つてからのデビュー、電気設備学科の山本先生。

スポンの股下が裂けたままの状態。華麗なる教室デビューを飾った。

職員室デビューは、ゴキブリ退治のため、ゴキブリホイホイを出して、周りから「あなたはゴキブリか」との突っ込みに、本人は「ガッキー」みたいでかっこいいと、満悦の様子。

デビューから毎回のコーナーに登場の元祖お騒がせ野郎は言わずと知れた小林先生。今回は有休を育休と登録した実績を持つが、今回はこれ。

研修会の報告書で、「保護者継電器試験」と書くところを、「保護者継電器試験」と書いて提出してしまつた。

どうも、「心、此処にあらず」のようだがそれもそのはず、この春に、長かつたトンネルを抜け華開く由

とわにSachiあれ。

(優良可)

# ちがいでちよばない 自慢ばない

## 『テクノロジー学部』

### 機械工学科新設

2年課程機械工学科が新設されてから2年目を迎えました。この場をお借りして、卒業生の皆様へ挨拶を申し上げます。今後とも、「ご支援を賜りますようお願いいたします。」

さて、機械工学科の原点は昭和36年に創設された東海製函技術学校にあります。現在は高等課程の校舎となった東海工業専門学校熱田校で建築・土木等の分野と共に設置され、約50年間にわたり多くの卒業生を輩出してまいりました。

名古屋工業院専門学校への移動設置に伴い、関連する制御等の分野が結び付き、ものづくりの基礎が広がり、また、新たな飛躍を目指しています。

機械工学科には、一般工場で使用されている工作機械である旋盤・フライス盤各種溶接機や、コンピュータで制御するNC旋盤・マシニングセンタ・溶接ロボットなどがあります。また、CADやCAM(3D CAD)のデータから加工用のプログラムを作成)などもあり、使う豊富な実習時間を持った科となっています。また、工作機械の多さは他の専門学校に無い特徴になっています。

当校の機械工学科としては、今年度が最初の卒業生となります。

参考に、昨年までの就職先業種は機械設計・プリント設計・航空機製造・ロケ

ットなど飛翔体製造・列車の整備修理・自動車部品製造・金型・食品会社機械保守管理・工程管理・品質管理・水処理施設製作など、幅広い分野に就職しています。

こんな機械工学科を、今後ともよろしくお願いします。

## 『技術力の証明』

Web学科の学生2名が神奈川県で行われた「若年者ものづくり競技大会」のウェブデザイン部門に参加しました。

この大会は事前に行われる競技会において、上位20名にのみ参加資格が与えられます。その中にWeb学科の学生2名が入り参加を果たしました。

学生が参加したウェブデザイン部門の競技内容は、ホームページの作成です。指定時間内に、与えられた資料を基にホームページを作成していきます。いろいろな条件を考慮しての制作であり、併せて企画力も試されます。

1日目は課題発表。会場でホームページのテーマが発表されました。それからが大変です。ホテルに戻りホームページの構想やプログラムの確認で深夜まで準備に追われました。

2日目が正念場。ホームページの作成です。たくさんのお客様が見ている中、ホームページを作っていきます。テレビ番組の収録も行われていました。学生達も

力が入ったことだと思えます。最後に自分達の作品をプレゼンしていきます。8月の猛暑の中で大会でしたが、会場の熱気はそれ以上。来年も学生達と参加し上位入賞を目指したいと思えます。



作品をプレゼンしているところです。観ている方も思わず力が入っています。

## 『日本ゲーム大賞2010』

東海地区で唯一、本校の学生作品が日本ゲーム大賞を受賞しました。日本ゲーム大賞は、国内でリリースされたゲーム作品の中から、優れた作品のみが選出され、東京ゲームショウで発表される国内最大のゲームコンテスト。ミリオンヒットしたタイトルからアマチュアの作品まで評価の対象となっており、業界関係者による厳選審査のもと、受賞作品が決定されています。

その日本ゲーム大賞のアマチュア部門において、マルチメディア科3年のゲーム制作グループ「チーム機密文書」により開発された戦略型ゲーム「EUROPA A(エウロパ)」が佳作を受賞しました。EUROPAは、人工知能で動作するキャラクターに指示を与え、惑星を侵略して行く戦略型ゲームで、「達成感と攻防の

緊張感」が楽しめるゲームですが、このよつな作品には、見た目の調整や操作感を実現するため、思考と工夫と時間を費やしていくことが必要となってきます。理論的ではない現象をプログラムとCGで表現することがゲーム開発の特徴となりますが、ゲームを学ぶ学生は、プログラムやCGの基礎だけでなく、それら



EUROPA  
人工知能で動作する pix で攻略する

の理論的ではない仕組みや、手法を学ぶため、作品を作り続けていきます。

今回の日本ゲーム大賞アマチュア部門には、全国から200を超える作品がエントリーされ、その中から、当校の学生作品は、授賞を勝ち取りました。今後も、学生の努力が結果に結びついてほしいものです。(トリプルクリック)

## 『電子・デジタル家電分野の話題を三題』

まず第一に、『工事担任者ATDD総合種』の認定講座について。

総務省の認定を受け、平成12年度から継続するこの講座も今年度で11年目。ほ

ほぼ6ヶ月間の勉強で情報通信技術者として是非とも欲しい価値ある資格が取得できるようになりました。まるで、夢のような話です。平成22年度の電子情報学科2年生全員が、この資格を取得しました。これは、自慢できる立派な結果です。

今年度も電子情報学科1年生の43名が、資格取得を目標に頑張っています。次に、校内で高校生を対象にした『工事担任者DD3種合格講座』を毎年実施しています。今年も例年にも増して、63名が参加をしました。社会状況の厳しさからか、価値ある資格取得を目標に頑張っている高校生も多いのです。

最後に、昨年からの継承事項でもある就職内定状況です。100年に一度の大不況と言われ、就職活動は最悪と言われるほど厳しい社会情勢から早3年。しかし、社会状況は好転せず、就職活動をする者にとっては、相変わらず大変厳しい超氷河期と言っても良いでしょう。

該当クラスの就職希望者内定状況が、年度内に、何とか目標とする100%を達成できそうです。今年も勿論、優良企業から多数の学生が内定をいただきました。各クラス、ゴールは目前だ！

(デジデン)

『連覇に向けて』

やりましたー。中日ドラゴンズじゃなかった電気設備学科。今年も体育祭において、1位から5位まで独占しました。そして、七連覇を達成しました。ドラゴンズもやってくれよ。電気を自覚して。てな思いがつたこと言っているとなんか向かって唾を吐くことになりそうです。ね。分かってますよー、気を引き締めたいと

思います。しかし、学生が力一杯頑張っている姿を見るのは気持ちいいものですねえ。ただ、各科対抗縄跳びは負けたと思っただんですが、皆さんこけちゃったんですね(いかんいかん)。他の科の皆さんありがとうございました(おいしい)。

電気工学研究科が優勝しましたが、電気設備関係学科はどこが優勝してもおかしくない接戦でした。昨年に続いての独占ですからね(こらこら)。

電気工学研究科と言えは、就職も好調でした。中部電力2名、電気保安協会(中部、北陸、関西、中国、四国)に合計8名、JR東海3名、三菱重工業、清水建設、そしてJRや名鉄、三菱東京UFJのグループ会社等々に内定しました。もちろん100%の内定率です。やっぱり就職が決まるというのは、学生だけでなく我々教職員が一番ほっとする瞬間です。世間は厳しそうですが、今後この荒波を乗り越えて行ける学生を育てていきたいと思っています。

そしてまた、今年も好調に願書提出が続いています。今年、電気設備学科合計で、175名の学生が入学しました。夜間部を開設しているのも電気だけです。来年度も多くの学生に入学してきてほしいですね。

また来年もこの紙面で言いたい放題できるように頑張るぞー。

(新デンシエンマン)

『学外支援実習』

今年も、放送クリエイティブ科、映像クリエイティブ科、サウンドライティンク科では、イベント・映像制作に関する

スペシャリストを育成すべく、様々な外部のイベントに『学外支援実習』として、学生が現場に出かけ活躍しました。その中で、今年も盛大に行われた堀川祭りについて紹介します。

毎年6月上旬に七里の渡しで、まきわら船を堀川に浮かべ行われるこの祭り。敷地内では太鼓の演奏や出店が並ぶなどとても賑わいます。今年も400年祭の記念行事として堀川のまきわら船を、名古屋城のお堀に浮かべることにしました。日没後、名古屋城をバックに浮かぶまきわら船の光景は、大変素晴らしい、感動的でした。

乗船した学生達は、喜びと感動にあふれたとてもいい表情をしていました。



名古屋城を背景にして浮かぶ「まきわら船」抒情的な光景に感動し、誰からともなく自然と拍手がわき起こりました。

この本番を迎えるまでには船の整備、提灯の点検、そして取り付けまで、多くの時間を費やしました。猛暑の中、若い力を一致団結させてプロを目指す音響スタッフ、制作スタッフが本番に向け素晴らしい活躍してくれました。祭りは21時に終了。しかし、スタッフはこれから勝負。声を掛け合い、撤収

に入り、手際よく片付ける。組み立てたものを片付けるのは寂しい気持ちでしたが、とても楽しく、ありがとという感謝の気持ちでいっぱいでした。このような経験を積み重ね「学外支援実習」で学んでいく魅力・・・こんな感動的な体験ができることは他にはありません。

『2年連続』

文部科学大臣賞受賞

今年もやりました。全国専門学校ロボット競技会で優勝しました。昨年の自律型ハードウェア部門での優勝に続き、今年も有線型ロボット対戦競技で見事頂点を極めました。

この競技は、20センチ四方の立方体や球、塩ビパイプのソケットを積み上げる競技であり、スタート時のロボットの寸法は、50センチ四方の大きさで決まっています。積み上げられた最高地点は、120センチの高さです。

ロボットの性能はもとより、操縦者のテクニックが勝負を大きく左右します。自分たちの技術を信じて、落着いて操縦すれば必ず勝ると信じて、競技に挑みました。

そして、見事に優勝。今まで準優勝が2回と特別賞が1回でしたが、ここに工学院のロボット技術の歴史に新しい1ページを刻むことが出来ました。

自立型ソフトウェア部門では、優秀ソフトウェア賞、2足歩行ロボット部門では、サッカーのPK戦を模した競技で、2台出場し、3位とロボコム賞(大会テーマにもっとも沿ったロボットに与えられる賞)をいただきました。

(ロボ吉)

平成三年度

母校のおもなでぎいじ

昨年の夏、宮崎県の畜産業者などに大きな被害をもたらした口蹄疫、そして今年に入ってから鳥インフルエンザ、猛暑、水害、記録的な大雪そして火山の噴火、海外でも水害、干ばつそして特大のハリケーン、大自然が人類に反撃をしてきたかのような出来事が続いた一年でした。さて、工學院の一年はどのようだったか・・・？

- 4月7日(水) 第79回入学式
4月8日(木) 始業式
4月18日(日) 情報処理技術者試験
4月28日(水) 第1回原人会
5月14日(金) 第1回・企業説明会
5月23日(日) 工事担任者試験
5月22日(土) 東海地区保護者会(卒業クラス)
6月3日(木) 第2回企業説明会
6月5日(土) 第一種電気工事士技能試験(筆記免除者)
6月6日(日) 第一種電気工事士筆記試験
6月6日(日) 映像音響処理技術者資格認定試験

6月12日(土) 寮対抗球技大会/毎年寮生の親睦を図るために開かれるボリング大会

優勝 前泊郁弥君(明治寮)
準優勝 藤本明哉君(明治寮)



名古屋エースレーンにて

- 6月18日(金) 中部電気産業界英会就職相談会
6月20日(日) CAD利用技術者試験
6月26日(土) 校友会支部長総会
7月3日(土) ~ 7月19日(月) 教育懇談会/県人会担当教員が各地区へ赴き保護者との面談を行った。
(会場/長野 松本、飯田、那覇、石垣、名護、宮古、富山、金沢、福井、長浜)

- 沼津、静岡、浜松、高山、尾鷲
7月4日(日) サウンドレコーディング技術認定試験
7月9日(金) 学生会役員選挙/会長・嘉藤佳祐(機械工学科) 副会長・福留雪(M&S学科) 書記・松井晶紀(ゲームサイエンス学科) 会計・中屋隆宏(電業技術学科)
7月13日(火) 14日(水) 第一級陸上無線技術士試験
7月15日(木) 16日(金) 第二級陸上無線技術士試験
7月25日(日) 第一種電気工事士技能試験

- 7月26日(月) ~ 30日(金) 前期末試験
7月30日(金) 昼間部・夜間部終業(夏期休暇)
8月7日(土) エネルギー管理士試験
8月24日(火) 夜間部始業
8月30日(月) ~ 9月11日(土) 第一級陸上無線技術士講習会
9月4日(土) 第一種・第二種電気主任技術者試験(一次試験)
9月5日(日) 第二種電気主任技術者試験
9月5日(日) 第25回マイクロマウス中部地区初級者大会(於:本校)/マイクロマウスクラシック競技

- 優勝 馬場悠輔(メカトロニクス研究科)
9月12日(日) AV情報家電・生活家電エンジニア・アドバイザー試験
9月13日(月) 昼間部始業
9月18日(土) ~ 19日(日) 東京ゲームショウ見学/「日本ゲーム大賞2010」アマチュア部門佳作
鎌倉敬祐(マルチメディア科)

- 準優勝 三島竜太(メカトロニクス研究科) 支部サーキット競技
優勝 馬場悠輔(メカトロニクス研究科) ロボスプリント競技ワンメイクの部
準優勝 三島竜太(メカトロニクス研究科) 特別賞
馬場悠輔(メカトロニクス研究科) ロボスプリント競技一般の部
特別賞 佐藤真一(ロボティクス創造学科)



- 9月12日(日) AV情報家電・生活家電エンジニア・アドバイザー試験
9月13日(月) 昼間部始業
9月18日(土) ~ 19日(日) 東京ゲームショウ見学/「日本ゲーム大賞2010」アマチュア部門佳作
鎌倉敬祐(マルチメディア科)



栗田京太郎(マルチメディア科)

清水大樹(マルチメディア科)

宮地葉平(マルチメディア科)

10月2日(金)CADアドミニストレ

一夕認定試験

10月2日(土)第一種電気工事士

技能試験(筆記免除者)

10月3日(日)第一種電気工事士

筆記試験

10月9日(土)東海地区保護者会

(進級クラス)

10月17日(日)情報処理技術者試験

10月19日(火)体育祭/今年も体育祭

日和。鶴舞競技場に学生達の歓声が響き

わたった。優勝は電気工学研究科



回って、跳んで、走った体育祭

10月23日(土)バンダイナムコゲーム  
ス特別講演会「パーティー型石のにおけ  
るシナリオ構成」

10月23(土)24日(日)学園祭/今年

で39回を迎えた名学祭。テーマは「轟」



名学祭を支えた実行委員(下)

10月24日(日)第29回マイクロマウス

中部地区大会(於・本校)/マイクロマ

ウスクラシック競技。支部サーキット

競技。ロボスプリント競技を実施

ロボスプリント競技ワンメイクの部

優勝

馬場悠輔(メカトロニクス研究科)

準優勝

三島竜太(メカトロニクス研究科)

10月26日(火)第22回愛知県専修学校

各種学校連合会卓球大会出場

男子個人戦4位

高木裕介(情報総合学科)

11月7日(日)第25回全日本学生マイ

クロマウス大会(於・早稲田大学)

マイクロマウスクラシック競技

3位

馬場悠輔(メカトロニクス研究科)

4位

三島竜太(メカトロニクス研究科)

11月21日(日)機械設計技術者試験

11月28日(日)工事担任者試験

11月28日(日)第一種・二種電気主任

技術者試験(二次試験)

12月5日(日)第一種電気工事士

技能試験



第22回愛知県専修学校  
各種学校連合会卓球大会

12月23日(水)第19回全国専門学校

ロボット競技会/大田区産業プラザ

有線型ロボット競技部門

優勝

大河内良之(ロボティクス創造学科)

稲垣雄斗(ロボティクス創造学科)

二足走行ロボット競技部門

3位

田中洋志(メカトロニクス研究科)

宮本喬史(メカトロニクス研究科)

優秀ソフトウェア賞

渥美透(ロボティクス創造学科)

馬場悠輔(メカトロニクス研究科)

ロボコム賞

小野田有起(ロボティクス創造学科)

畔柳賢一(ロボティクス創造学科)

12月24日(金)「2010アジアデジタル

アート大賞」/福岡で毎年開催されてい

るデジタルアート&デザインの普及啓

発を目的としたコンテスト。「BOBA

(エウロパ)は、「日本ゲーム大賞2010

アマチュア部門」の佳作に続いてダブル

受賞をするという快挙を成し遂げまし

た。

エンターテイメント部門

特別奨励賞

鎌倉敬祐(マルチメディア科)

栗田京太郎(マルチメディア科)

清水大樹(マルチメディア科)

宮地葉平(マルチメディア科)

12月24日(金) 昼間部・夜間部終業

(冬期休暇)

1月12日(火) 昼間部・夜間部始業

1月14日(金) 第2回県人会

1月18日(火) 19日(水)

第一級陸上無線技術士試験

1月20日(木) 21日(金)

第一級陸上無線技術士試験

1月27日(木) ~ 2月2日(水)

卒業試験

2月7日(月) ~ 14日(月) 進級試験

3月8日(火) 校友会賞授賞式/

情報総合学科の片山彩さんをはじめ22

名の学生が校友会会長から賞状と記念品

を手渡されました。

3月8日(火) 茶話会

3月9日(水) 卒業式

# 熱田の散歩道

## ＝ 裁断橋 ＝

工学院の校舎が建ち並ぶ伝馬町界隈はかつては東海道五十二次41番目の宿場町として大変な賑わいであった。その様子は、江戸末期から明治時代にかけて刊行された「尾張名所図会」にも記されている。また、この伝馬町が東海道の主要な宿場町であったことはその地名からもつかがい知ることが出来る。

さて、歩き始めよう。1号館正面玄関を出てその前に立つと、国道1号線をはさんで左斜め前方には姉妹校である「あいちビジネス専門学校」の校舎が見える。あいちビジネス専門学校は数年前に金山に移転したため、伝馬町の校舎はそれ以来空き校舎となっていた。その校舎を工學院の機械・ロボット・CAD分野の学生が利用できるようにするべく、現在は壁面の一部に足場が組まれ改修工事が進められている。平成23年4月から工學院10号館として生まれ変わり、学生たちも新しい学び舎で授業を受けられるようになる。

国道を跨ぐ名鉄常滑線のガード橋を左手に見ながら自らも国道を渡る。そして左に折れて改修中の校舎の前を横

切りその角を右に曲がり南に向かう。頭の上を中部国際空港行きの特急ミュースカイが通り過ぎていく。

一本目の道を右に折れて西に向かう。傍らには一里塚があり、その道が旧東海道であることを物語っている。やがて左手に姥堂と裁断橋が見えてくる。

橋といっても川に架かっている橋ではない。川もないのに何故ここに橋があるのか不思議に思っていた人もいるのではないだろうか。勿論、私もその一人だった。



ここにある擬宝珠は複製品。本物は名古屋市博物館に保存されている。

かつては、工学院1号館が建っているあたりを精進川という川が南北に流れていた。裁断橋は、その川に架かっていたものだった。大正15年に精進川は埋め立てられ、現在の新堀川となった。橋もその時点でその役目を終えているのだが、何故、裁断橋だけが熱田の史跡として保存されているのだろうか。

精進川が埋め立てられても擬宝珠のある4本の橋柱はそのまま残された。橋の長さは約12メートル、幅5.7メートルであったが、戦後、現在の位置に縮小された形で復元され姥堂境内に保存されている。

その残された擬宝珠には、天正18年の小田原の役でわが子を失った母の悲しい思いが刻まれている。この文は「日本女性三大名文」の一つに数えられている。裁断橋を後にして更に西に歩いていくと、「鈴之御前社」がある。祭神は、「天鈿女命（あめののづめのみこと）」らしい。この神様は、日本最古の踊り子で、岩戸隠れをした天照大神を誘い出すのに一役買ったことは有名な話である。

鈴之御前社を左に見つつ歩いていくと、南北に伸びる大津通りに出る。大津通りを越えたその先に東海道の道標がポツリと立っている。ここは、東海道と佐屋街道、木曾路の分岐点。この道を上る人下る人、さまざまな思いを胸

に多くの人が行きかった場所。

### 創立60周年を迎えます

本学園は創立以来58年にわたり15万人を超える卒業生を国内はもとより、世界へ輩出してまいりました。

「社会から喜ばれる知識と技術をもち、歓迎される人柄を兼ね備えた人材を育成し、英知と勤勉な国民性を高め、科学技術・文化の発展に貢献する。」

この建学の精神を具現化するために、日々教育力を磨き、さまざまな資質と個性を持った学生・生徒にとつて、最良な夢の伴奏者となるべく努力してまいりました。

「面倒見のいい。の連鎖」これが、我々が志向する電波学園教育の成果です。

平成24年の60周年に向けて、学園のあたらしい顔であるロゴマーク、そして『ありがとう』と言われること。』というフレーズを定めました。

本学園では、今後も「ありがとう」の意味を考えていくため、みなさんの「ありがとう」を募集いたします。

下記のサイトより、気軽に応募ください。



<http://www.denpa.jp>

## 【特筆すべき学生】

最近の工学院で特筆する学生を紹介します。後輩の頑張りを讃えて下さい。

### 満点資格合格

デジタル家電科 遠藤創史君

デジタル家電科は、資格として「家電製品エンジニア試験」と「家電製品アドバイザー試験」の資格取得を目標にしています。エンジニアの資格は基礎技術と応用技術に分かれています。内容は家電製品の構造や原理に関する知識と、実践的な修理技術が問われるものです。アドバイザーの資格は商品知識と顧客管理・法規に分かれています。内容は家電機器の取扱い知識とお客様への対応と省エネ・環境・製品安全などの法規が問われるものです。

授業は、これらの資格を取得するカリキュラムで進められています。デジタル家電科は実習（オーディオやテレビ実習、回路製作実習、計測実習などの実践的な実習授業）が多く、試験範囲まではなかなかできません。授業で学んでいないところは自分自身で勉強して対応しなければなりません。



満点資格合格者  
遠藤創史君（愛知高校出身）

そして遠藤君は受験した資格で一度も不合格になることなく、すべての資格に合格しました。しかも、200満点中120点以上が合格とされるアドバイザー試験の商品知識においては、200満点を取ることができました。試験範囲は広範囲にわたっており、なかなか満点が取れるものではありません。試験を主催している家電製品協会に確認したところ、受験者5124名の中でも、満点合格はほとんどいないということでした。遠藤君の努力が成し遂げた結果です。

遠藤君はこれに満足せず、研究科に進学し、工事担任者D1第一種試験やその他の資格にチャレンジしていくつもりです。

資格などを活かし、自分自身の実力を希望する業界で十分に発揮できるように、これからも努力と活動を続けて成長してほしいと期待しています。

## 夢は何ものにも勝る

電気工学研究科 田矢隼士君

今年のプロ野球日本シリーズ、すごい死闘を見せてくれましたが惜しかったですねドラゴンズ。是非来年も頑張ってくれるといいですね。

さて、時を遡ること4年前。一人の高校球児が野球ばかりの高校生活を送っていました。そして、高校の3年間はあつという間に過ぎてしまいき、彼は新たな目標を見つけようと、迷いながらも工学院的門をたたいたのです。そして、ここから驚くべき快進撃を続けることとなるのです。

今回紹介するのは田矢隼士君です。三重県立上野工業高校の出身です。兄が二人おり、いつも兄と比べられる生活で、それを忘れようと野球に打ち込み、高校の卒業を機に兄に負けないような会社に入ってやろうと、思ったのです。この会社が「中部電力株式会社」だったのです。



田矢隼士君  
（上野工業高校出身）



未来を語る田矢君

入学後から彼は厳しい荒波にもまれることになりました。高校時代に勉強というものに馴染みのない彼にとつて「電験」の二文字は大変重くのかかかってきました。周りを見ると自分より頭のいい人ばかりに見え、挫けそうになる自分の心を「中部電力入社」というこの思いが助けてくれました。

電気分野の最高峰の資格である電験は難しい資格で、電気工学科の学生は電験三種の取得を目指しますが、全国の合格率は10%程です。ましてや電験二種となると2%程で、中部地区では20人程の合格者数です。田矢君はなんと、電験三種の合格と同時に電験二種の合格も手にしてしまつたのです。更にエネルギー管理士や第一種電気工事士の資格も見事取得。全て「中部電力に入りたい」という思いから成し遂げた成果です。

そして念願であった「中部電力入社」の夢も手に入れたのです。

## 『校友会東京支部便り』

校友会東京支部担当 池戸博行

東京支部では、2年おきに支部総会が開催されています。学校からは、会長や支部担当が招待され支部会員との交流が図られています。今年も2月に、ホテルフロンシオン青山で開催されました。

特に今年は、校友会の表彰規定により前東京支部長の新川美浩氏が、長年の校友会活動への貢献により功労賞を授与されました。新川前支部長は、平成15年から平成20年までの6年間、東京支部長を務められ、また、東京支部の活動の他、本校の学生にも貴重な講演をしていただいたことでもあります。この場をお借りして感謝を申し上げます。

東京支部には、関東地区の出身者と言うより、全国各地から本校に入学して名古屋で学び東京で就職した方が多いのです。特に旧科名である電波通信学科や電子工学科の情報通信分野の卒業生が多いのが特徴です。

話は変わりますが、東京に観光の新名所が一つ増えました。なんとだと思いますか？ そつ、東京スカイツリーです。

平成20年7月に着工し、世界一となる完成時の高さ634m(武蔵)に達するのは、平成23年春、開業は平成24年春の予定です。

建築中のタワーを見るのは今しかないの、多くの人がスカイツリーをバツクに写真撮影を楽しんでいます。

実は、私もその一人です。東京スカイツリーの所在地は、東京都墨田区押上です。近くで見ようと思ひ東京メトロの半蔵線に乗って押上駅で下車。地上に出たらなんとそこは、スカイツリーの真下だったのです。あまりの巨大さに圧倒されてしまいました。撮影を試みましたが、思うようにフレームに納まってくれませぬ。仕方なく浅草に移動。写真は、浅草雷門の近く、隅田川に架かる吾妻橋から見たスカイツリーです。



浅草 吾妻橋から見たスカイツリー

東京スカイツリーは、見る場所によって見え方が違つと言います。スカイツリーの足元は、三角形で、上の方は円形になっていて、場所によって歪んで見えるらしいのです。

シルエットには日本の伝統美が生かされており、日本刀が持つ『そり』や日本の伝統建築手法である『むくり』により、タワーは見る角度によって色々な陰影を作りだします。

昭和生まれである私の中学時代の修学旅行は東京でした。観光名所といえは浅草の雷門や東京タワー。その東京タワーが建設されたのが、昭和33年でした。世界一の塔を造りたい。終戦後の日本を元気にしたい。と言つ情熱と使命感で建築された電波塔。高さは333m。

NHKテレビで放送された『プロシエクトX 挑戦者たち』でも取上げられました。わずか15か月という短期間で完成した世界一高い自立鉄塔。

時は流れついに東京スカイツリーに高さ日本一の座を抜かれてしまいました。が今もお東京タワーは東京のシンボルであることには変わりありません。

地上放送を初めとするテレビ放送の完全デジタル化(平成23年7月24日のアナログ放送終了)まであと数カ月です。

時代はアナログからデジタルに変わるともテレビのスイッチを入れれば番組を見ることが出来ます。最近の情報通信分野の技術革新には驚くものがあります。それを裏方でいつも支えている技術者がいます。工學院の卒業生がその人達です。

## 編集後記

5年前、ノキア製のスマートフォンを購入した。当時、今ほどのブームではなく、シヨップでもあまり販売に力が入っていなかった。

自宅に帰つてから、いろいろ機能を試して気がついた。着メロやゲームなど、その携帯に対応したコンテンツは皆無に近かった。充電器や保護用フィルムを家電屋に買いに行つても、対応している商品は何処にも見当たらなかった。使用中にリーズしてリブートすること度もあった。

そして1年後、辛抱の限界に達した私は、普通の携帯に買い替えることにした。しかし1年前、性懲りもなく再びスマートフォンを購入。これが非常に「良い」のだ。コンテンツも豊富でパソコンとの親和性が高く使い勝手もグッド。やっとスマートフォンがやってきた。

情報通信技術の発展は、様々なサービスとそれと連動したアイテムを生みだしている。そして私たちは、その時代の流れに翻弄されながら生きている。

本校の歴史も60年という時の流れの中で築かれてきた。翻弄されず、常に流石をとらえ進んできた。

激みに群れず、流石を行く。そんな生き方ができたら素晴らしいと思う。

(零式)